

3. 会員サービスの強化

会員のニーズを踏まえたサービスの強化・拡充を図るとともに、中小企業診断士の活動分野の拡大、社会的評価の向上を図ります。

(1) 新情報システムの円滑な運用

協会本部に「情報システム室（仮称）」を設置し、新情報システム稼働に伴う円滑な運用を図るとともに、会員に対して新情報システムの周知を行い、本部・支部役職員に対する教育研修を実施します。

(2) 広報活動の強化

広報部会のもと、「企業診断ニュース」、「ホームページ」、「メールマガジン」を一体的、総合的に企画・運用する体制を構築することにより、広報活動の強化・拡大を図ります。

(3) 登録手続き支援サービスの実施

平成18年度に引き続き、診断士の登録手続き支援サービスを実施します。さらに、新情報システム稼働後は、更新研修等での要件取得状況の通知や更新手続き案内等のサービスなどの登録手続き支援サービスを、会員 My ページを活用して行います。

(4) ビジネスクリニック機能の拡充・強化

新情報システムを活用し、会員全員の最新の専門分野の登録制度を設け、紹介依頼のあった中小企業者や支援機関等に速やかに提供することで、会員のビジネス創出機会の拡充と利便性の一層の向上を図ります。

4. 中小企業経営診断シンポジウムの開催

経営革新診断技法の向上を図る論文発表を、分科会形式で東京都において開催します。

5. 国際協力事業

国際協力機構（JICA）、日本貿易振興機構（JETRO）等海外専門機関が実施する専門家派遣事業に協力します。また、中小企業診断士制度の海外への普及等についても協力します。

6. 関係機関等との連携

昨年度に引き続き、各金融機関が実施しているリレーションシップバンキングに協力して、金融機関との連携を拡充すると同時に、公立図書館が行うビジネス支援のための経営相談会に協力を行います。

「診断士の書評」 執筆担当者決定

本誌2月号にて募集いたしました「診断士の書評」の執筆担当会員が、次のとおり決定しました。執筆担当期間は、2007年4月号～2009年3月号までの2年間となっています。

「診断士の書評」執筆担当者一覧（敬称略）

- ・池邊博史（大分県支部）
- ・鴻 雅行（兵庫県支部）
- ・大山寛之（東京支部）
- ・清永健一（大阪支部）
- ・三田泰久（三重県支部）
- ・篠田昌人（福岡県支部）
- ・高橋香代子（宮城県支部）
- ・徳澤昭彦（埼玉県支部）
- ・富永一也（福岡県支部）
- ・中村 博（大阪支部）

平成18年度「支部における 調査・研究事業」46支部の 調査・研究報告書を公開

平成18年度の「支部における調査・研究事業」では、46支部が調査・研究を実施しました。46支部の調査・研究報告書につきましては、3月中旬より当協会ホームページ（<http://www.j-smeca.or.jp/>）において公開しておりますので、ぜひともご覧ください。